

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 7 月 31日 ( 13 : 45 ~ 14 : 30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	14 人	0 人	0 人	15 人

**前回の改善計画**

・初回時より1週間という短い期間でなく、1か月といった長い期間で情報を集め共有したり家族との関係を作っていく。また、家族との連絡が取りにくい方もいられるため、特変時などは、ケアマネを通し家族などにうまく説明していくという流れを作る(ケアマネを上手く活用していく)。ミーティング等を通じ午後の時間の使い方を検討・評価していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

・新規の利用者に関し、利用前にケアマネを中心にミーティング等で事前の情報共有出来ていたように感じた。また、その情報をもとに利用者に対し、必要な援助を行うように努めた。ただ、情報が上手く伝わらないケースもあり、ミーティングに参加していないとわからないこともあり、援助し、その場になってわかる事もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	13	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	2	1	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	2	14	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	14	1	0	16

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・以前より具体的なケース記録やミーティング、共有ノートの活用により、しっかりとした情報集めや共有できている。また、職員はその情報をもとに、利用者に対し必要な援助を行うように努めた。

・事前情報をもとにミーティング等で話し合い、自分が最初のかかわりを持つ際は、介助手順書を参照しながら援助を行い、その後、多職員にも申し送りし、新しい情報を共有し、援助するように努めている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族の思い強く、家族の意見が反映されやすく、その為、本人主体でなく、家族・介護者主体の支援やケアプランになっているように感じる。また、家族にサービス内容や手順を説明しているものの理解して頂けない部分もあった。

・家族・介護者の不安を受け止める努力はしているが、具体的な関係作りはなかなか行えない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)

・事前情報をサービス開始してからの状態大きく違うこと多々あり、利用前のサービス関係者の意見などをもとに、現状に合った事前情報を作成し、共有していく。また、初回時は特に、ケースに詳細な記録を記載していく(入浴・トイレ・排泄・食事の様子、嗜好品など)。

・家族の意見のみ聞こえ、利用者本人の声が聞こえてこない。利用時など情報を集め、ミーティング等で話し合い、共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 7 月 31日 ( 13 : 45 ~ 14 : 30 )
------------------	-----	--------------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	8名
------------------------	------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	5 人	8 人	2 人	15 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン重複やあいまいな点もあり、ミーティングで検討していく。また、ケース記録の隠見出しを活用し、もっと明確化し、気づきへつなげていく。朝、申し送りをし1日の流れを話し合う(毎日出来るものではないが、可能な日は行っていく)。</li> <li>・アクティブの内容も職員全員がうまく把握できていない為、メモを残すなど工夫していく(内容・保管場所・進捗状況・次に何をしたら良いかわりにくい)。</li> </ul>

前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン、細分化しすぎて内容よく分からなくなっている(重複なども多く、チェックしにくい)。ミーティングでの検討不足あり。</li> <li>・アクティブの何をしたらよいかや進捗状況が、相変わらず周知不足な面あり。職員間の話し合い等が必要だった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	10	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	10	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	12	1	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	8	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟にミーティングで話し合いもて、提案したことなど実践されている。また、日々の援助の中、利用者に対し気づいたことなどを、ミーティングにかかわらず、その場で情報共有し、次の援助に活かしている。</li> <li>・潜在能力を生かしながら、日常動作ができるように声掛け・見守り等を行っている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランなどに目標など記載されているが、家族の意向を重視されていて、目標を見失ってしまう(利用者本人のゴール曖昧なこと多い)</li> <li>・ミーティングに参加する機会少なく、発言する機会が少ない。また、ミーティング後初めはできているが、その内、おざなりになったり、忘れてしまう事もある。</li> <li>・アクティブで何か始める際は周知が必要(ともじび祭りの作品作りなど)だが必ずしも出来ていないため、次に何をしたらよいかどこまで行っているかなど、不鮮明。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブに関し、何をしたらよいか解りにくいため、事前をしっかり話し合いを持ちアクティブ全体で目標を立ててみる(3か月くらいの周期で)。ただ、寝ていたい人や静かに過ごしたい人もいるため、強要などせずに行っていく。職員・家族の思いでなく、本人の意思を尊重した活動を目指す。</li> <li>・ケース記録、見出しの活用不十分のため、ミーティング等で話し合い、統一を図っていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年7月31日 ( 13 : 45 ~ 14 : 30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	12 人	6 人	1 人	20 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録紙の「アクティブ・その他」わかりにくい。体調等記入出来るような枠名に検討変更していく。また、「見出し」の理解不足な面もあり。ミーティングで話し合っていく。ケースの排泄の書き方曖昧(量など)、ミーティングで統一を図っていく。また、便・尿量など曖昧な際は文章にして記録していく。</li> <li>・勤務表にミーティングのリーダーには印がついているため、あらかじめ意見があるか、ミーティング不参加者に確認しておく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過紙の「見出し」の活用、十分にできているとは言えない。ケースの記入方法についても、大まかな部分では統一がされているも、曖昧な部分も残ったままの状態。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	14	2	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	18	0	0	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	12	8	0	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	18	0	0	19
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	20	0	0	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や気持ちの変化については、看護・職員間で報告や共有でき、それに基づき状況に合わせた適切な援助がおこなえている。また、小さな変化も職員間で情報共有できており、対応できていた。</li> <li>・関わりの中の気づきや話しなど記録し共有に努めている。また、連絡ノートを活用し、情報の共有を図り、必要時ミーティングで話し合をもち、新しい情報を共有できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の暮らし方について、事前のケアマネからの情報のみで、それ以上知ろうという関わりもまた少ないため、10個以上はなかなか把握できていない。また、本人が話したからない部分も多いため、短い時間で把握することが難しい場合もある。</li> <li>・職員の少ない日のミーティングが開催されていて、参加する機会乏しく、情報の共有が難しい時もある。また、自らミーティング内容を把握するといった積極性もかけていた。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノース記録記載時、「見出し」を活用し見やすいしていく。記録の書き方について、学習会開催し、統一を図る。</li> <li>・出来たこと・出来なかったことを含め、日々の様子を詳しくケースに記載していく。</li> <li>・連絡ノート活用しきれていないため、前日公休だった職員が、ケースを参照できるように、一言記載していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 10 日 ( 13 : 45 ~ 14 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	3 人	2 人	16 人

<p>前回の改善計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研修計画に地域資源の勉強会を組み入れる。</li> <li>・地域資源を職員全体で理解し、よい支援に繋げる。</li> </ul>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>・その方の地域資源は何?という部分で知識不足あり、把握することが難しかった。地域資源に対する勉強会も不十分な面あり、理解不足になり、支援につなげる事ができなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	7	1	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	14	1	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	11	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	8	5	4	17

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・家族とのかかわりが持てるよう、イベントや訪問時、送迎時等の積極的に話すようにしている。</li> <li>・本人との関わりや声掛けにより、生活スタイルや人間関係の情報を得る努力している。またケアマネを連携し、情報をいただきながら本人と関わっていくことで、少しずつではあるが状況を把握する事が可能になった。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのかかわりや、訪問時以外の直接接していない時の生活について、把握することが難しい方もいられた。</li> <li>また、事業所だけで考えてしまう部分があり、そのため視野が狭くなってしまい、地域の資源に対し理解不足になり、うまく活用できていないのが現状。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源について理解不足のため、勉強会を開催したり、地域のコミセンや民生委員、町内会などから情報を集めるなどし、理解を深める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 10 日 ( 13 : 45 ~ 14 : 30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	11 人	3 人	2 人	16 人

<p>前回の改善計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研修計画に地域資源の勉強会を組み入れる。</li> <li>・地域資源への理解を深め、より柔軟な対応ができるようする。</li> </ul>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会もなかなか開催できず、地域資源について、理解不足。その為、支援に組み入れることができていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	8	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	13	1	1	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	12	1	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	2	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前より細やかなケース記録あり、利用者の状態や情報を共有しやすくなった。また、利用者の変化・気づきをその都度話し合っている。ニーズに応じた、サービス提供や、本人の状態に対応した支援を行っている。また、ケアマネが中心となり、変化に応じたサービス提供や急な予定変更にも適切に対応していた。</li> <li>・サービス開始となっても、近所の知人、別居家族の見守りを継続してもらっている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源に対し勉強不足ため、それらを使った支援があまり出来ていない。</li> <li>・家族主体のサービスになっている方もいる。小規模のニーズに合っていない使い方されている方もいる。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネを通じ、地域資源提示、柔軟な支援を行っていく。</li> <li>・サービス開始時の支援内容が続いている(変更は家族からニーズがあった時や、体調に変化があった時のみ)。1 か月し利用者が慣れて来たら、サービス内容が妥当が、話し合いを持ち、よりその人の暮らしが支えられるように必要なら、変更していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月10日(13:45～14:30)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	7人	2人	1人	16人

<b>前回の改善計画</b>	<p>・「まちなね」の活動で多職種や他サービス機関との連携ができ始めているので、その関係を深めていけるような活動をしっかり継続していく</p>
<b>前回の改善計画に対する取組み結果</b>	<p>・「まちなね」の活動は、継続して取り組んでいる。他サービス機関との連携も切れないように関係性を構築している。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5	4	4	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	3	4	5	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	7	4	2	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	5	7	4	16

<b>できている点</b>	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>・町内会等は防災訓練に参加いただいたり、クリーン作戦などにより関わりを持っている。また地域自治体の季節行事へも参加している。 ・ケアマネが多職種との会議に参加し、その後多職員へ情報共有されていた。 ・ボランティアや近隣学校の交流を持ち、交流する機会を持っている。</p>
---------------	--

<b>できていない点</b>	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>・他者を事業所で見かけることはほとんど認められなかった。行事でもない限り他の人が訪れる機会がない(行事への参加も減ってきている)。センターの周知不足、広報等を有効に活用できなかったためと思われる。 ・「まちなね」開催しているも、なかなか美沢で開催する機会なく、素通りになってしまっている。担当職員外の職員にも周知不足。</p>
----------------	---

<b>次回までの具体的な改善計画</b>	<b>(200字以内)</b>
<p>・「まちなね」について、担当職員以外の職員は何を行っているか、周知不足。事前・事後に報告しあい情報の共有や知識の向上に努める。また、開催後は広報を活用し、利用者家族や近隣へ周知を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 15 日 ( 13 : 45 ~ 14 : 45 )

7. 運営

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	12 人	2 人	1 人	16 人

前回の改善計画
<p>・地域からの理解を深めるため「まちのね・介護教室」等を活用し一人ひとりが情報提供に努める必要がある。その場で出た意見を基に今後の展開に繋げていく。まずセンターの位置を含め、地域に向け情報を発信し浸透させる（イベント・行事の際、広報の活用にて情報発信する）。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>・新しく事業所の取り組みのパンフレットを作成・配布し情報提供に努めている。また、フリーカフェについての看板を作成し、情報発信行っている。しかし、いまだセンターの認知で低く、フリーカフェなど訪れずれる人はほぼいない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	3	9	4	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	5	2	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	4	3	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10	2	3	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・新しく、簡潔なパンフレット作成し、クリーン作戦時に配布するなど情報発信に努めていた。満足度調査の際出た意見について職員間で話し合いを持ち、できることから改善を図っている。 また、家族や利用者からでは意見や苦情については必ず共有し、サービスに反映できるよう努力している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・職員間の連携不足や業務内容の不足もあり、同じようなミスが続いている（衣類返却ミスや忘れ物など）。 ・地域の意見・苦情がどのように問題になっているか、直接関わることがないため、どのように運営に反映されているかわからない（多職員へ周知不足ある）。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・学生らと（授業の一環などで）交流図っているも、センターの中で完結してしまっている。広報など活用し、活動報告などし地域との関わりを報告していく。 ・満足度調査など、まとめたままになりがち、その後について報告不足。1 年の終わりの広報に、意見についてとその改善について、報告していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年8月15日(13:45～14:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	4人	0人	11人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修後の勉強会が報告・書面のみになりがちのため、別途で時間を設けるかして職員全体に周知・把握してもらう。</li> <li>地域連絡会の参加有無を含め内容把握に努める。</li> <li>月例ミーティングに積極的に参加する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強会やミーティングに参加できないと、結局書面だけの報告になってしまう。</li> <li>なかなか月例ミーティングへも参加できていないのが現状。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	2	10	3	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	1	1	10	4	16
③	地域連絡会に参加していますか?	4	4	6	3	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	2	7	7	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>職場内研修は計画的に行っている。また、外部の研修についても(勤務状況見ながらではあるも)、積極的に職員に出席してもらっている。また、自分自身が研修に参加できていなくても、ケアマネや参加職員からの情報提供を把握することで、スキルアップへつなげることができている。</li> <li>以前よりヒヤリハットを積極的に書き、リスクマネジメントについて共有を図っている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>忙しさにかまけ、月初めに1度開催される、こぶし園全体でのミーティング(月例ミーティング)へほとんど参加できていない職員もいる。</li> <li>ミーティングや勉強会に参加できていないと、結局書面だけの報告で終わってしまう(自ら、ミーティング内容を把握しようという積極性に欠けていた)。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修前にもこんな研修に行きますといった内容の挨拶を行い、研修への意識参加への意識付けを行う。</li> <li>また、研修後、1週間以内位に報告、発信を(報告会と別に、連絡ノートを活用して、簡潔な内容を記載していく)。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 8 月 15 日 ( 13 : 45 ~ 14 : 45 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度改善計画に対する意識付けをしっかりと行い配慮に努める。</li> <li>・成年後見制度は現在利用している方いないも、研修等行い知識を深める。</li> <li>・通い・宿泊利用者増に伴いベッド数に限りあり、男女同室という状況も有。プライバシー保護のためパーテーションやカーテンを設置する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女同室の場合、カーテン等を工夫し、プライバシー保護に努めている。しかし、ベッド数や居室・ベッドへのこだわりもあり、やむなく男女同室の時があるも、それが当たり前になり、プライバシー等への配慮減ってしまった面もある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	7	3	0	16
②	虐待は行われていない	8	8	0	0	16
③	プライバシーが守られている	4	6	6	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	6	2	5	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	13	0	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースは個人情報のため、記載したら、すぐに所定の棚へしまうよう掛けている。その為、以前よりケースがテーブル上へ出しっぱなしということは減った。</li> <li>・しっかりした勉強会などを行い、人権やプライバシーについて知識を深め、以前よりさらにそれぞれ意識し配慮するように努めた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・書物や個人名の書いてある棚の扉が開けたままになっていて、ほかの方に見えてしまっていることがある。</li> <li>やむを得ず、男女同室で休んでもらうことあるが、プライバシー保護への配慮足りないこともあった。また、フロアソファで休まれている利用者の姿が丸見えになってしまい、配慮不足であった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡時など交代で休んで頂いたり、必要なら簡易ベッド活用するなどする。また、やむを得ずフロアソファで休んでいただく際は、プライバシーを保護出来るような、衝立などを使用する(利用者の安全には十分に中止しながら活用していく)。</li> </ul>	